

第V編 都市計画

第1章 公園緑地	V-1-①-1
----------	-------	---------

第1章 公園緑地

① 機械土工…………… V-1-①- 1	⑦ 縁石工…………… V-1-⑦- 1
1 機種の選定…………… V-1-①- 1	1 石材縁石…………… V-1-⑦- 1
2 ブルドーザ…………… V-1-①- 1	2 レンガ縁石…………… V-1-⑦- 3
3 小型バックホウ(ミニホウ) (0.1m ³ 、油圧式、クローラ式)… V-1-①- 2	⑧ 給排水構造物工…………… V-1-⑧- 1
4 トラクター土工…………… V-1-①- 2	1 側溝工…………… V-1-⑧- 1
② 基礎工…………… V-1-②- 1	2 マンホール工…………… V-1-⑧- 2
③ 左官工…………… V-1-③- 1	3 汚水排水設備工…………… V-1-⑧- 4
1 左官仕上げ工…………… V-1-③- 1	4 地下排水工…………… V-1-⑧- 4
2 人造石仕上げ工…………… V-1-③- 4	5 給水管路工…………… V-1-⑧- 5
④ 石工…………… V-1-④- 1	⑨ 公園植栽工…………… V-1-⑨- 1
④-1 石仕上げ工(平石張) …… V-1-④- 1	1 適用範囲…………… V-1-⑨- 1
1 適用範囲…………… V-1-④- 1	2 施工フロー…………… V-1-⑨- 1
2 施工概要…………… V-1-④- 1	3 施工歩掛…………… V-1-⑨- 2
3 施工パッケージ…………… V-1-④- 3	4 単価表…………… V-1-⑨- 6
④-2 コンクリート表面はつり、つつき仕上げ工 …………… V-1-④- 4	5 植栽工事の割増積算…………… V-1-⑨- 8
⑤ 園路広場整備工…………… V-1-⑤- 1	6 参考資料…………… V-1-⑨- 9
1 土系舗装工…………… V-1-⑤- 1	⑩ サービス施設整備工…………… V-1-⑩- 1
2 レンガ・タイル系舗装工…………… V-1-⑤- 2	1 適用範囲…………… V-1-⑩- 1
3 石材系舗装工…………… V-1-⑤- 3	2 ベンチ・スツール据付工…………… V-1-⑩- 1
⑥ 擁壁工…………… V-1-⑥- 1	⑪ フェンス工…………… V-1-⑪- 1
1 石積工…………… V-1-⑥- 1	⑫ 修景施設整備工…………… V-1-⑫- 1
2 コンクリートブロック工…………… V-1-⑥-13	1 適用範囲…………… V-1-⑫- 1
	2 石組工…………… V-1-⑫- 1

第1章 公園緑地

① 機械土工

1. 機種の選定

1-1 人力施工と機械施工の場合（県-K）

公園工事においてはその性質上、細部における仕上等機械施工の及ばない微妙な施工については人力を計上できるものとする。

1-2 使用機種の選定（県-K）

公園工事においては小規模土工及び狭小地で施工等が多いので、使用機種の選択は十分留意し、工事量、工期、現場作業条件等を勘案して機種を選定すること。なお、特殊で大規模な工事については、工事内容により適切に選定すること。

1-3 積算の標準機種

「第Ⅱ編第1章②土工」により機種を選定をする。

1-4 埋戻の機械施工にあたっての機種選定は、掘削機械の転用を考慮する。（県-K）

1-5 ダンプトラック運搬作業

「第Ⅱ編第1章②-1土工 3-2土砂等運搬」による。

1-6 運搬距離による土工方式の区分

「第Ⅱ編第1章②-1土工 2-2土の流れ概念図及び対応施工パッケージ」による。

1-7 機械の施工歩掛

(1) 土量の表示

すべての地山土量で表示する。

(2) サイクルタイム (Cm) 及び1サイクル当りの作業量 (q)

現場条件による変動はすべて作業効率に含める。

(3) 土質区分

「第Ⅱ編第1章①土量変化率等 4土質区分の対応」を参照

2. ブルドーザ

2-1 掘削押土

「第Ⅱ編第1章②-1土工 3-1掘削」を参照

2-2 敷均し

「第Ⅱ編第1章②-1土工 3-4路体（築堤）盛土」を参照

2-3 締固め工

(1) 締固め機械の施工歩掛

「第Ⅱ編第1章②-1土工 3-4路体（築堤）盛土」を参照

(2) 敷ならし締固め機械の施工歩掛

「第Ⅱ編第1章②-1土工 3-4路体（築堤）盛土」を参照

3. 小型バックホウ（ミニホウ）（0.1m³、油圧式、クローラ式）

「第Ⅱ編第1章②-1 土工 3-1 掘削」を参照

4. トラクター土工（建都-K）

(1) 施工歩掛

公園工事用小型機械

トラクター（1t級）

1時間当り作業量（V_t）の算定式は次の通りとする。

$$V_t = \frac{60 \cdot W \cdot V \cdot E}{N} \quad (\text{m}^2/\text{h})$$

W：平均幅（m）

V：作業速度（m/min）

E：作業効率

N：作業回数

(2) 1時間当りの作業量

表 4.1 W. V. E. N標準数値

作業	W (m)	V (m/min)	E		N	摘 要
			砂、 砂質土	礫質土 粘性土		
耕 起	1.60	24.3	0.80	0.70	2	
砕土・整地	1.90	28.8			2	オフセットディスクハロー
肥料散布	1.80	41.1	1.00	1.00	1	ブロードキャスター、ライムソー
播 種	1.80	24.3			1	ブロードキャスター

表 4.2 小型機械土工（トラクター）歩掛（m²当り）

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
トラクター運転	1t級	h		1/V _t

(3) 単価表

表 4.3 小型機械土工 (トラクター) 単価表 SWB610310
(m² 当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
トラクター運転	1t級	h		1/V _t 表 4.2
諸 雑 費		式	1	
計				

表 4.4 トラクター運転単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
軽 油		ℓ	2.6	
特 殊 作 業 員		人	0.2	
機 械 損 料		h	1	
諸 雑 費		式	1	
計				

② 基礎工（県-K）（A714KW）

「第Ⅱ編共通工第2章共通工②基礎・裏込砕石工」に準ずる。

③ 左官工 (建都-K)

1. 左官仕上げ工

1-1 化粧目地工

(1) 施工歩掛

化粧目地切の施工歩掛は、次表を標準とする。

SWC695800
(1m 当り)

表 1.1 化粧目地切歩掛表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
目 地 切 り (床)	左官工	人	0.01	
〃 (壁)	〃	〃	0.015	

表 1.2 化粧目地切 (床) (壁) 1m 当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
左 官 工	床又は壁	人		表 1.1
諸 雑 費		式	1	
計				

1-2 コンクリートハケ引き仕上げ工

(1) 施工歩掛

コンクリートハケ引き仕上げの施工歩掛は次表を標準とする。

SWC696000
(1m² 当り)

表 1.3 コンクリートハケ引き仕上げ歩掛表

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
コンクリートハケ引き仕上げ	左官工	人	0.017	

表 1.4 コンクリートハケ引仕上げ 1m² 当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
左 官 工		人		表 1.3
諸 雑 費		式	1	
計				

1-3 モルタル仕上げ工

(1) 施工歩掛

モルタル金ゴテ仕上げ、ハケ引き仕上げの施工歩掛は次表を標準とする

SWC696100
(1m²当り)

表 1.5 モルタル金ゴテ仕上げ歩掛表

名 称	規 格	単 位	数 量			備 考
			床	壁	特 殊	
モ ル タ ル	1 : 3	m ³	0.02	—	—	
〃	1 : 3	〃	—	0.02	0.02	
左 官 工		人	0.048	0.15	0.225	
普通作業員		〃	0.006	0.018	0.027	

表 1.6 モルタル金ゴテ仕上げ（床）（壁）（特殊）1m²当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
モ ル タ ル	1 : 3	m ³		表 1.5
左 官 工		人		〃
普通作業員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

SWC696200
(1m²当り)

表 1.7 モルタルハケ引き仕上げ歩掛表

名 称	規 格	単 位	数 量			備 考
			床	壁	特 殊	
モ ル タ ル	1 : 3	m ³	0.02	—	—	
〃	1 : 3	〃	—	0.02	0.02	
左 官 工		人	0.038	0.12	0.18	
普通作業員		〃	0.006	0.018	0.027	

表 1.8 モルタルハケ引き仕上げ（床）（壁）（特殊）1m²当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
モ ル タ ル	1 : 3	m ³		表 1.7
左 官 工		人		〃
普通作業員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

1-4 防水モルタル塗工

SWC696300
(1m²当り)

表 1.9 防水モルタル塗り歩掛表

名 称	規 格	単 位	数 量			備 考
			床	壁	特 殊	
モ ル タ ル	1 : 3	m ³	0.02	0.02	0.02	
防 水 剤		kg	0.6	0.6	0.6	
左 官 工		人	0.048	0.15	0.225	
普通作業員		〃	0.006	0.018	0.027	

表 1.10 防水モルタル塗り (床) (壁) (特殊) 1m²当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
モ ル タ ル	1 : 3	m ³		表 1.9
防 水 剤		kg		〃
左 官 工		人		〃
普通作業員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

1-5 モルタル練工 (県-K) 「第II編共通工第4章コンクリート工①コンクリート工」に準ずる。

2. 人造石仕上げ工

2-1 人造石研ぎ出し仕上げ工

(1) 施工歩掛

人造石の研ぎ出し仕上げ、洗い出し仕上げの施工歩掛は次表を標準とする。

表 2.1 人造石研ぎ出し仕上げ歩掛表 (仕上厚 2cm) (1m² 当り)

名 称	規 格	単 位	数 量			備 考
			床	壁	特 殊	
セメント		kg	7.28	8.56	8.56	
白セメント		〃	6.48	6.48	6.48	
砂	洗い細目	m ³	0.015	0.015	0.015	
種 石		kg	12.3	12.3	12.3	
顔 料		〃	0.2	0.2	0.2	
左 官 工		人	0.25	0.36	0.54	
普通作業員		〃	0.08	0.095	0.14	

(注) 上記の区分は以下による。

床 : 舗装、基礎等に係る左官工事

壁 : ウォール、砂場、階段等に係る左官工事

特殊 : すべり台、水飲み、石の山等に係る左官工事

表 2.2 人造石研ぎ出し仕上げ 1m² 当り単価表

SWB610320

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
セメント		kg		表 2.1
白セメント		〃		〃
砂	洗い細目	m ³		〃
種 石		kg		〃
顔 料		〃		〃
左 官 工		人		〃
普通作業員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

2-2 人造石洗い出し仕上げ工

表 2.3 人造石洗い出し仕上げ歩掛表 (仕上厚 2cm)

(1m² 当り)

名 称	規 格	単 位	数 量			備 考
			床	壁	特 殊	
セ メ ン ト		kg	7.28	8.56	8.56	
白セメント		〃	6.48	6.48	6.48	
砂	洗い細目	m ³	0.015	0.015	0.015	
種 石		kg	12.3	12.3	12.3	
顔 料		〃	0.2	0.2	0.2	
左 官 工		人	0.188	0.271	0.405	
普通作業員		〃	0.06	0.071	0.11	

(注) 上記の区分は下記による。

床 : 舗装、基礎等に係る左官工事

壁 : ウォール、砂場、階段等に係る左官工事

特殊 : すべり台、水飲み、石の山等に係る左官工事

表 2.4 人造石洗い出し仕上げ 1m² 当り単価表

SWB610330

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
セメント		kg		表 2.3
白セメント		〃		〃
砂	洗い細目	m ³		〃
種 石		kg		〃
顔 料		〃		〃
左 官 工		人		〃
普通作業員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

④ 石 工

④-1 石仕上げ工（平石張）（建地—K）

1. 適用範囲

本資料は、一般土木及び公園工事で施工する遊歩道、歩道、広場等の舗装・床張り、階段（踏面幅1,200mm以下、蹴上高400mm以下）及び壁張りにおける平石張工に適用する。

1-1 適用できる範囲

- (1) 平石材料が表1.1の規格に該当する場合
- (2) 目地幅が、平均10mm程度の場合

表1.1 平石材料規格

作業区分 形状区分	舗装・床張り	階段	壁張り
乱形石	φ50～600mm程度 平均厚さ10～60mm程度 質量15kg程度まで	φ80～400mm程度 平均厚さ15～40mm程度 質量6kg程度まで	φ60～300mm程度 平均厚さ15～50mm程度 質量7kg程度まで
方形石	短辺100mm以上 長辺1,500mm以下 厚さ25～120mm 質量60kgまで	短辺100mm以上 長辺920mm以下 厚さ40～170mm 質量130kgまで	短辺140mm以上 長辺600mm以下 厚さ30～120mm 質量60kgまで

(注) 質量は、石材1枚当りである。

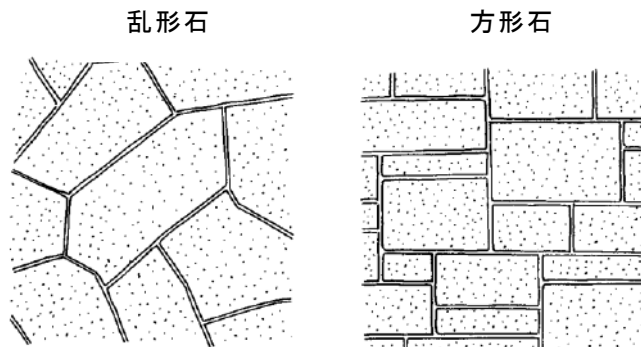
1-2 適用できない範囲

- (1) 施工箇所が法面の場合

2. 施工概要

平石張とは、平石を敷（張付け）モルタルの上に張っていく工法であり、平石には乱形石と方形石がある。乱形石は不規則な形をした平石であり、方形石は長方形、または正方形に加工した平石である。平石張に使用される石には鉄平石、青石、丹波石、御影石等がある。

(参考図)



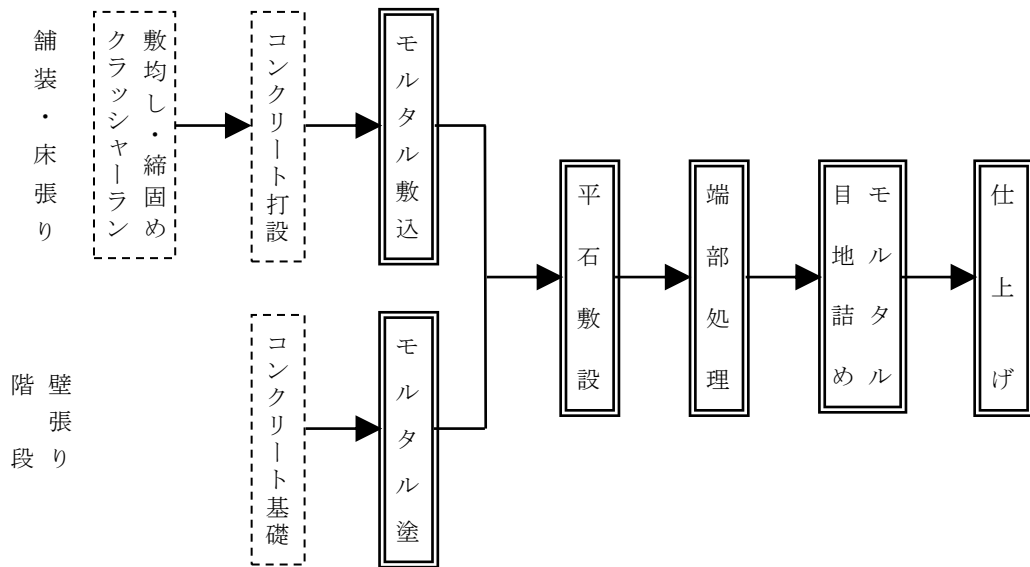


図 2-1 施工フロー

(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。

3. 施工パッケージ

3-1 平石張 (SCB221910)

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3.1 平石張 積算条件区分 (積算単位：m²)

作業区分	平石の形状区分
舗装・床張り	乱形石
	方形石
階 段	乱形石
	方形石
壁張り	乱形石
	方形石

(注) 1. 上表は、敷モルタル、モルタル塗り、平石敷設、端部処理、目地モルタル及び資材の現場内小運搬（運搬距離 20m 程度）の他、敷モルタル材料、目地モルタル材料、モルタル塗り材料、ディスクグラインダ、電力に関する経費の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、平石（材料費）は含まない。

2. 平石（乱形石、方形石）の材料費は別途計上する。

3. クレーン等が必要な場合は別途計上する。

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3.2 平石張 代表機労材規格一覧

項目	代表機労材規格		備考
機械	K1	—	
	K2	—	
	K3	—	
労務	R1	石工	
	R2	普通作業員	
	R3	土木一般世話役	
	R4	—	
材料	Z1	—	
	Z2	—	
	Z3	—	
	Z4	—	
市場単価	S	—	

3-2 平石 (材料費)

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3.3 平石 (材料費) 積算条件区分一覧

(積算単位: m²)

平石の形状区分
乱形石
方形石

(注) 1. 平石の使用量は、次式による。

$$\text{使用量 (m}^2\text{)} = \text{設計面積 (m}^2\text{)} \times (1 + K)$$

K: ロス率

表 3.4 ロス率 (K)

区分	舗装・床張り		階段		壁張り	
	乱形石	方形石	乱形石	方形石	乱形石	方形石
ロス率	+0.07	+0.03	+0.04	+0.03	+0.08	+0.08

④—2 コンクリート表面はつり、つつき仕上げ工 (建都—K)

(1) 施工歩掛

コンクリート表面はつり、つつき仕上げの施工歩掛は次表を標準とする。

表 2.1 コンクリート表面はつり、つつき仕上げ工歩掛表

(1m²当り)

名 称	労 務	単 位	数 量	摘 要
コンクリート表面はつり仕上げ	石 工	人	0.38	
コンクリートつつき仕上げ	石 工	〃	0.25	

- (注) 1. はつり仕上げ……一般に、のみ、たがねを用いてコンクリート面を削る作業をいう。
切削深さはおおむね5～10mmである。
2. つつき仕上げ……主として、トンボ又はこれに類する工具を用いてコンクリート面をつつく作業をいう。切削深さはおおむね3～5mmである。

(2) 単価表

表 2.2 コンクリート表面はつり、つつき仕上げ 1m²当り単価表

SWB610340

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
石 工		人		表 2.1
諸 雑 費		式	1	
計				

⑤ 園路広場整備工 (建都-K)

1 土系舗装工

1-1 混合

(1) 適用範囲

土舗装における舗装材の混合作業に適用する。

(2) 混合用機械

混合用のトラクターの作業量 (V_t) の算定は下記による。

機種：トラクター 1.0t 級

$$V_t = \frac{60 \cdot W \cdot V \cdot E}{N} \quad (\text{m}^2/\text{h})$$

W：平均幅 (m)

V：平均速度 (m/min)

E：作業効率

N：作業回数

表 1.1 W・V・E・N標準数値

作業	W (m)	V (m/min)	E		N	摘要
			砂 砂質土	粘性土 レキ混じり土		
混合	1.60	24.3	0.80	0.70	2	

(3) トラクター作業歩掛

表 1.2 トラクター作業歩掛 (1m² 当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
トラクター 運転	1.0t 級	h		1/V _t

(4) トラクター運転歩掛

SF160

表 1.3 トラクター運転歩掛 (1 時間 当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
軽油		ℓ	2.6	
特殊作業員		人	0.2	
機械損料		h	1	
諸雑費		式	1	
計				

2 レンガ・タイル系舗装工

2-1 レンガ舗装

(1) 施工歩掛

レンガ舗装工歩掛は次表を標準とする。

①レンガ舗装工

表 2.1 レンガ舗装工歩掛表 (100m² 当り)

名 称	規格・形状	単位	数 量		備 考
			A (平敷き)	B (小端立て敷き)	
普通レンガ	JIS 3種 210×100×60	個	4,338	6,817	
ブロック工		人	9.9	17.7	据付手間
普通作業員		〃	6.6	11.0	同上手伝い、 小運搬

- (注) 1. モルタル練等は別途計上する。
 2. 舗装材料の小運搬は、運搬距離 20m 程度とする。
 3. モルタルは「第Ⅱ編第4章①コンクリート工」により別途計上し、これにより難しい場合は別途考慮する。

(2) 単価表

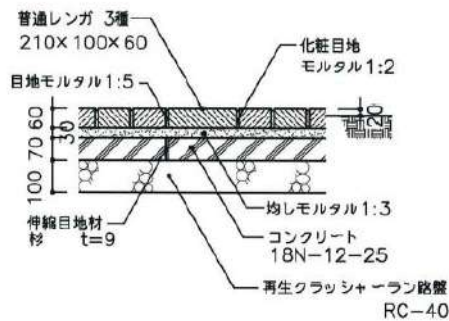
表 2.2 レンガ舗装工 100m² 当り単価表 SWB610350

名 称	規格	単 位	数 量	摘 要
普通レンガ	JIS 3種 210×100×60	個		表 2.1
ブロック工		人		〃
普通作業員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

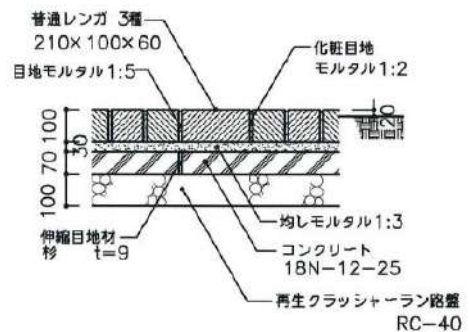
(3) 参考図

参考図

A 平敷き (RH-HA, 路盤厚 100 の例)



B 小端立て敷き (RH-KA, 路盤厚 100 の例)



3 石材系舗装工

3-1 ごろた石張舗装

(1) 施工歩掛

ごろた石張舗装工の施工歩掛は次表を標準とする。

表 3.1 野面ごろた石舗装工歩掛 (100m² 当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人	1.1	
石 工		〃	13.8	
普通作業員		〃	13.1	
諸 雑 費		%	18	(注) 2

(注) 1. 運搬距離 20m 程度の人力による小運搬距離を含む。
2. 諸雑費は、据付けモルタルの費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 3.2 野面ごろた石使用量 (100m² 当り)

材 料	規 格	単 位	数 量
野面ごろた石	φ100~200	個	4,400

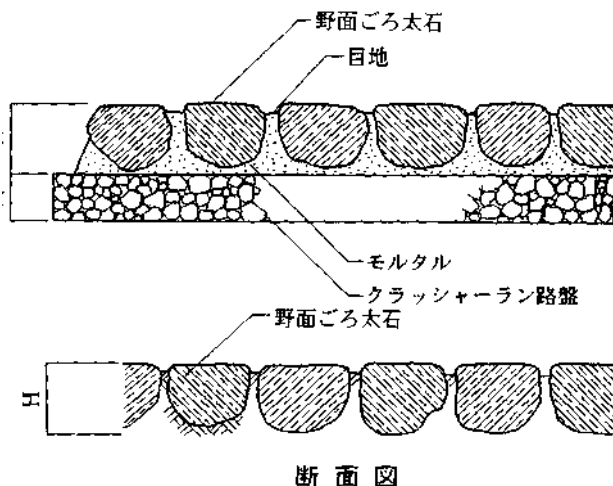
(注) 本表の野面ごろた石の数量は、標準的な野面ごろた石舗装工に使用し、特殊な形状、施工方法等の場合は別途考慮する。

(2) 単価表

表 3.3 ごろた石舗装工 100m² 当り単価表 SWC694200

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
土木一般世話役		人		表 3.1
石 工		〃		〃
普通作業員		〃		〃
ご ろ た 石	φ100~200	個		表 3.2
諸 雑 費		式	1	表 3.1
計				

(3) 参考図



3-2 小舗石舗装工

(1) 施工フロー

施工フローは下図の通りとする。

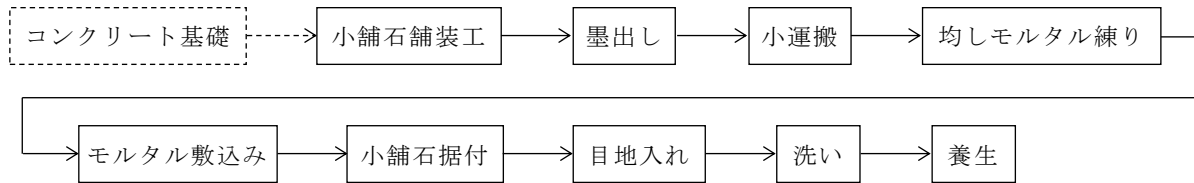


図 3-1 施工フロー

(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

基礎コンクリート、クラッシャーラン基礎については、別途計上する。

(2) 施工歩掛

小舗石舗装工歩掛は次表を標準とする。

表 3.4 小舗石舗装工歩掛 (100m²当り)

名 称	規格	単位	数 量	備 考
土木一般世話役		人	2.5	
石 工		〃	25.6	
普通作業員		〃	9.6	
諸 雑 費		%	7	(注)2

(注) 1. 運搬距離 20m 程度の人力による小運搬距離を含む。

2. 諸雑費は、目地モルタル、均しモルタル費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 3.5 小舗石使用量 (100m²当り)

材 料	規 格	単位	数 量
小 舗 石	90mm×90mm×90mm	個	10,000

(注) 本表の小舗石数量は標準的な小舗石舗装工に適用し、特殊な形状、施工方法等の場合においては別途考慮する。

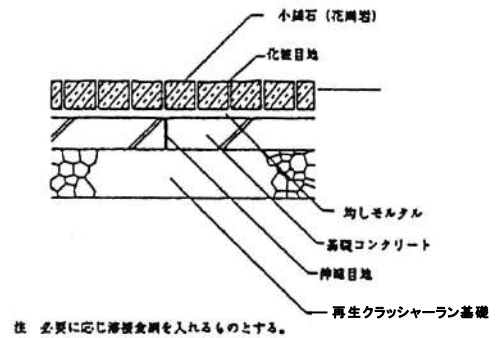
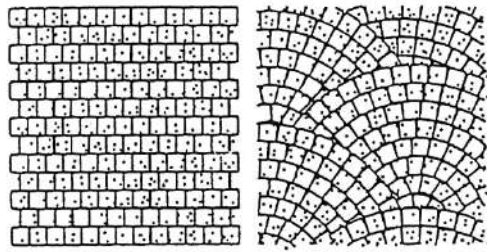
(3) 単価表

表 3.6 小舗石舗装工 100m² 当り単価表

SWC699000

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
土木一般世話役		人		表 3.4
石 工		〃		〃
普通作業員		〃		〃
小 舗 石		個		表 3.5
諸 雑 費		式	1	表 3.4
計				

(4) 参考図



⑥ 擁壁工（建都-K）

1. 石積工

1-1 空石積

(1) 適用範囲

本資料は、雑割石および雑石による空石積に適用する。

(2) 施工歩掛

雑割石および雑石の裏込栗石を使用して施工する空石積（法勾配1割未満）の施工歩掛は次表を標準とする。

表 1.1 空石積工歩掛 (10m² 当り)

名 称	単 位	数 量				摘 要
		雑割石	雑 石			
		控 え 350mm	控 え 300mm	控 え 350mm	控 え 400mm	
土木一般世話役	人	0.4	0.4	0.4	0.4	
石 工	〃	1.7	1.2	1.3	1.6	
普通作業員	〃	3.6	2.8	3.3	3.8	
諸 雑 費	%	4	3	4	3	(注)3

- (注) 1. 布積み及び谷積みに使用する。
 2. 運搬距離 20m 程度の人力による小運搬距離を含む。
 3. 諸雑費は、胴込・裏込栗石（碎石）の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額として計上する。

表 1.2 石材使用量 (10m² 当り)

材 料	単 位	数 量			
		雑割石	雑 石		
		控 え 350mm	控 え 300mm	控 え 350mm	控 え 400mm
石 材	個	130	210	160	140

(3) 単価表

表 1.3 空石積工 10m² 当り単価表 SWC691500

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人		表 1.1
石 工		〃		〃
普通作業員		〃		〃
石 材		個		表 1.2
諸 雑 費		式	1	表 1.1
計				

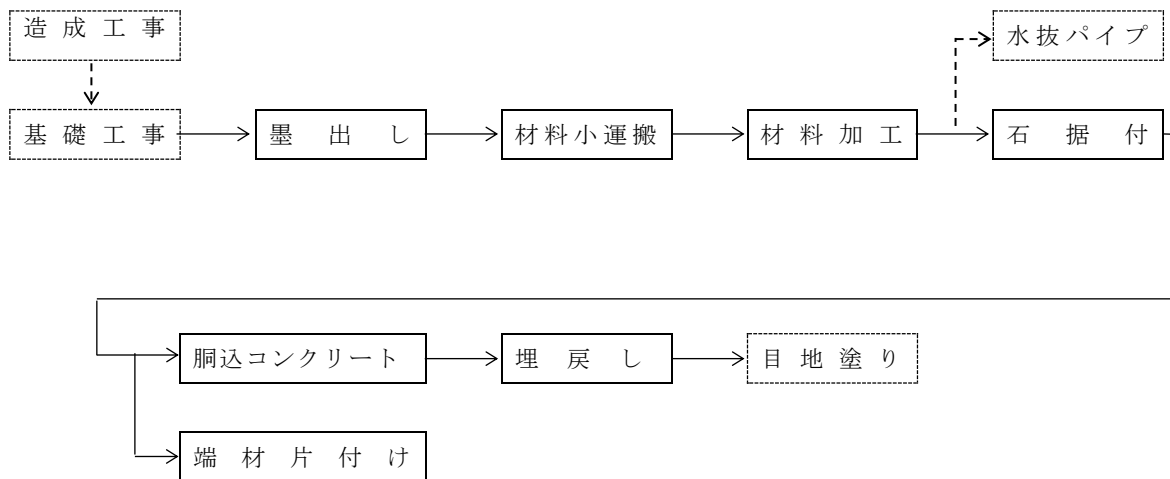
1-2 練石積

(1) 適用範囲

本資料は、雑石による練石積に適用する。

(2) 施工フロー

施工フローは下図の通りとする。



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

(3) 施工歩掛

雑石の胴込コンクリートを使用して施工する練石積（法勾配1割未満）の施工歩掛は次表を標準とする。

① 雑石による練石積工

表 1.4 雑石による練石積工歩掛

(10m² 当り)

名称	規格	単位	数量			摘要
			控え 300mm	控え 350mm	控え 400mm	
土木一般世話役		人	0.4	0.4	0.4	
石工		〃	1.1	1.2	1.5	
普通作業員		〃	2.8	3.3	3.8	

- (注) 1. 布積み及び谷積みに使用する。
2. 運搬距離 20m 程度の人力による小運搬距離を含む。
3. 原則として空目地とする。目地を塗る場合は別途考慮する。

表 1.5 雑石使用量

(10m² 当り)

材料	単位	数量		
		控え 300mm	控え 350mm	控え 400mm
雑石	個	210	160	140

② 胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛

胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛は、「1-8 胴込・裏込コンクリート投入打設」による。

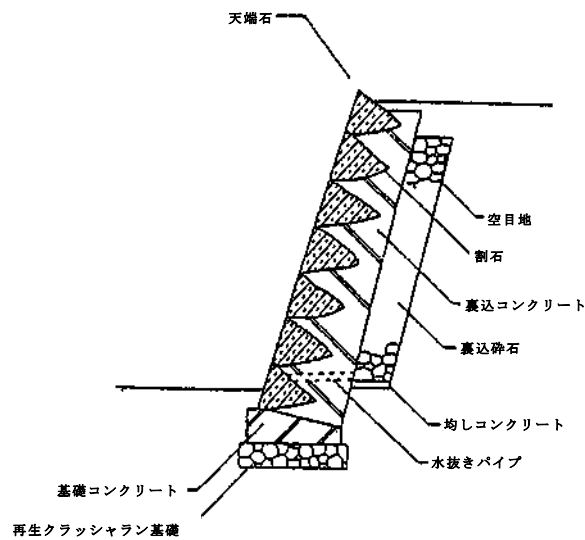
(4) 単価表

表 1.6 雑石による練石積工 10m² 当り単価表

SWC691600

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土 木 一 般 世 話 役		人		表 1.4
石 工		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
雑 石	控え ○○mm	個		表 1.5
諸 雑 費		式	1	
計				

(5) 参考図



1-3 空石張

(1) 適用範囲

本資料は、雑石による空石張に適用する。

(2) 施工歩掛

雑石の裏込栗石を使用して施工する空石張（法勾配 1 割以上）の施工歩掛は次表を標準とする。

表 1.7 雑石による空石張工歩掛 (10m²当り)

名 称	規 格	単 位	数 量			摘 要
			控 え 300mm	控 え 350mm	控 え 400mm	
土木一般世話役		人	0.4	0.4	0.4	
石 工		〃	1.1	1.2	1.5	
普通作業員		〃	2.5	2.9	3.4	
諸 雑 費		%	3	4	4	(注)3

(注) 1. 布積み及び谷積みに使用する。

2. 運搬距離 20m 程度の人力による小運搬距離を含む。

3. 諸雑費は、胴込・裏込栗石（碎石）の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額として計上する。

表 1.8 雑石使用量 (10m²当り)

材 料	単 位	数 量		
		控 え 300mm	控 え 350mm	控 え 400mm
雑 石	個	210	160	140

(3) 単価表

表 1.9 雑石による空石張 10m² 当り単価表 SWC691700

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人		表 1.7
石 工		〃		〃
普通作業員		〃		〃
雑 石	控え ○○mm	個		表 1.8
諸 雑 費		式	1	表 1.7
計				

1-4 練石張

(1) 適用範囲

本資料は、雑石による練石張に適用する。

(2) 施工歩掛

① 雑石による練石張工

雑石の胴込コンクリートを使用して施工する練石張（法勾配1割以上）の施工歩掛は次表を標準とする。

表 1.10 雑石による練石張工歩掛 (10m²当り)

名 称	規 格	単 位	数 量			摘 要
			控 え 300mm	控 え 350mm	控 え 400mm	
土 木 一 般 世 話 役		人	0.4	0.4	0.4	
石 工		〃	1.0	1.1	1.3	
普 通 作 業 員		〃	2.5	2.9	3.4	

(注)1. 布積み及び谷積みに使用する。

2. 運搬距離 20m 程度の人力による小運搬距離を含む。

表 1.11 雑石使用量 (10m²当り)

名 称	単 位	数 量		
		控 え 300mm	控 え 350mm	控 え 400mm
雑 石	個	210	160	140

② 胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛

胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛は、「1-8 胴込・裏込コンクリート投入打設」による。

(3) 単価表

表 1.12 雑石による練石張工 10m² 当り単価表 SWC691800

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土 木 一 般 世 話 役		人		表 1.10
石 工		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
雑 石	控え〇〇mm	個		表 1.11
諸 雑 費		式	1	
計				

1-5 割石積

(1) 適用範囲

本資料は、割石にて横目地をきれいに通した石積（法勾配 1 割未満）で、胴込コンクリートを使用して施工する本布積作業に適用する。

(2) 施工歩掛

割石を用いた本布積の施工歩掛は、次表を標準とする。

① 割石による本布積工

表 1.13 割石による本布積工歩掛表 (10m²当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人	0.5	
石 工		〃	3.1	
普通作業員		〃	5.2	

(注)運搬距離 20m 程度の人力による小運搬距離を含む。

表 1.14 割石使用量 (10m²当り)

材 料	単 位	数 量
割 石	個	130

② 胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛

胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛は、「1-8 胴込・裏込コンクリート投入打設」による。

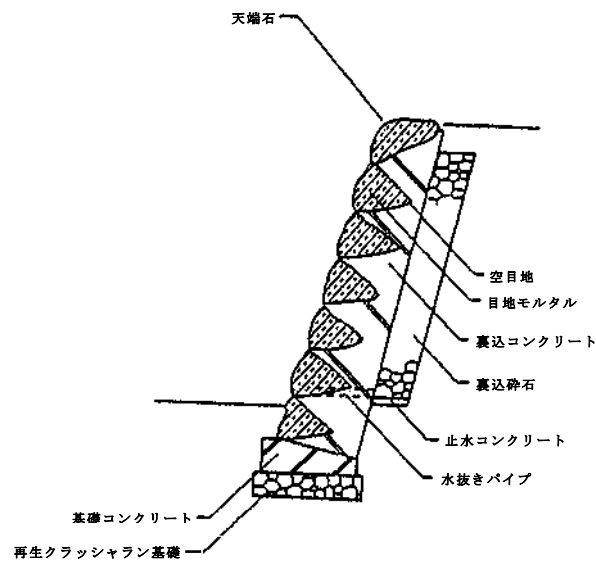
(3) 単価表

表 1.15 割石による本布積 10m² 当り単価表

SWC691900

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土 木 一 般 世 話 役		人		表 1.13
石 工		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
割 石		個		表 1.14
諸 雑 費		式	1	
小 計				

(4) 参考図



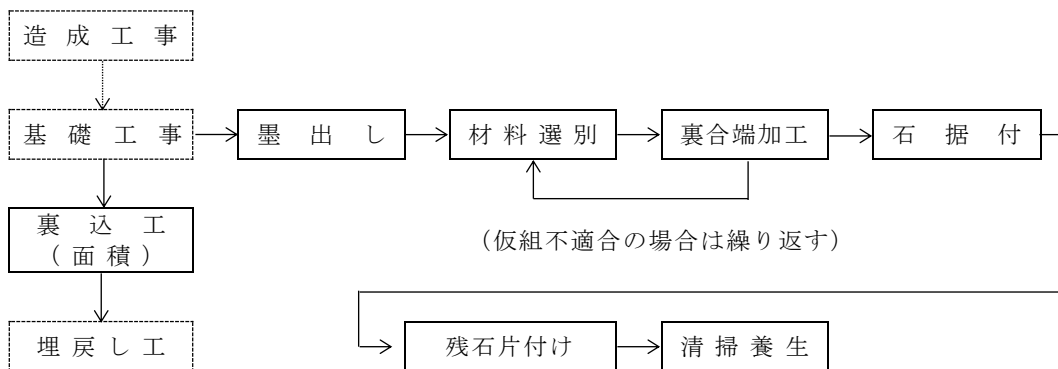
1-6 野面石修景積工

(1) 適用範囲

本資料は、野面石を修景的配慮を加えながら（面積・崩れ積を含む）施工を行う石積工に適用する。

(2) 施工フロー

施工フローは下図のとおりとする。



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

(3) 施工歩掛

崩れ積・面積（野面石修景積）施工歩掛は次表を標準とする。

① 野面石修景積工

表 1.16 野面石修景積工歩掛表 (10m²当り)

名称	規格	単位	数量	備考
土木一般世話役		人	1.0	
石工		〃	1.9	
普通作業員		〃	2.8	

(注) 運搬距離 20m 程度の人力による小運搬距離を含む。

表 1.17 野面石使用量 (10m²当り)

材料	規格・形状	単位	数量
野面石	φ 300~1,000mm	個	40

(注) 特殊な形状、施工方法等の場合は、別途考慮する。

② 胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛

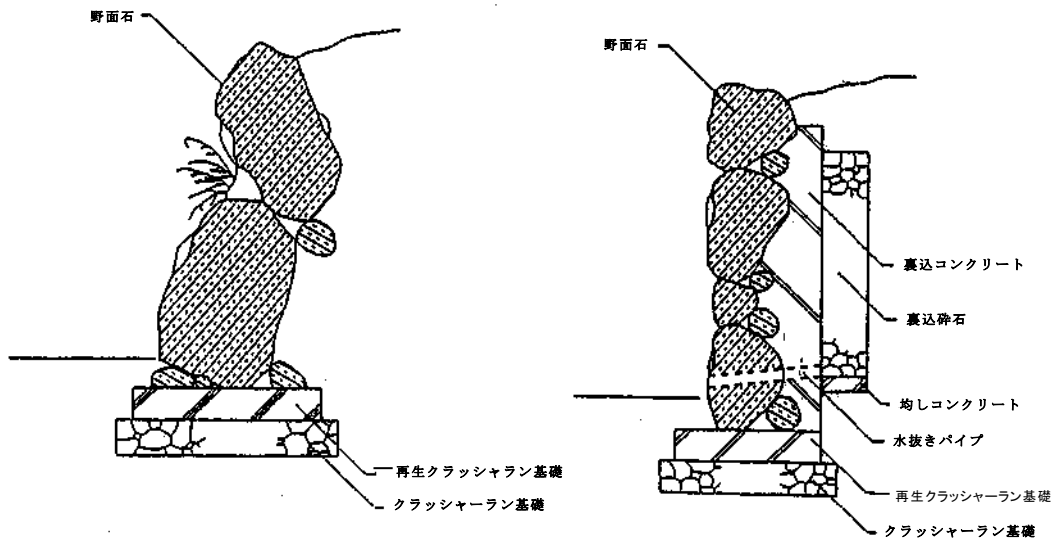
胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛は、「1-8 胴込・裏込コンクリート投入打設」による。

(4) 単価表

表 1.18 崩れ積及び面積 10m² 当り単価表 (崩れ積) SWC690800 (面積) SWC690900

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土 木 一 般 世 話 役		人		表 1.16
石 工		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
野 面 石		個		表 1.17
諸 雑 費		式	1	
小 計				

(5) 参考図



1-7 小端積

(1) 適用範囲

本資料は、割小端石による割小端積に適用する。

(2) 施工歩掛

割小端積の施工歩掛は、次表を標準とする。

表 1.19 割小端積工歩掛表 (10m²当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人	0.7	
石 工		〃	7.0	
普通作業員		〃	6.0	
諸 雑 費		%	2	(注)3

- (注) 1. 仕上り厚 90mm、目地幅 10mm 程度 (深目地 3~5mm) の場合である。
 2. 運搬距離 20m 程度の人力による小運搬距離を含む。
 3. 諸雑費は、張付けモルタルの費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

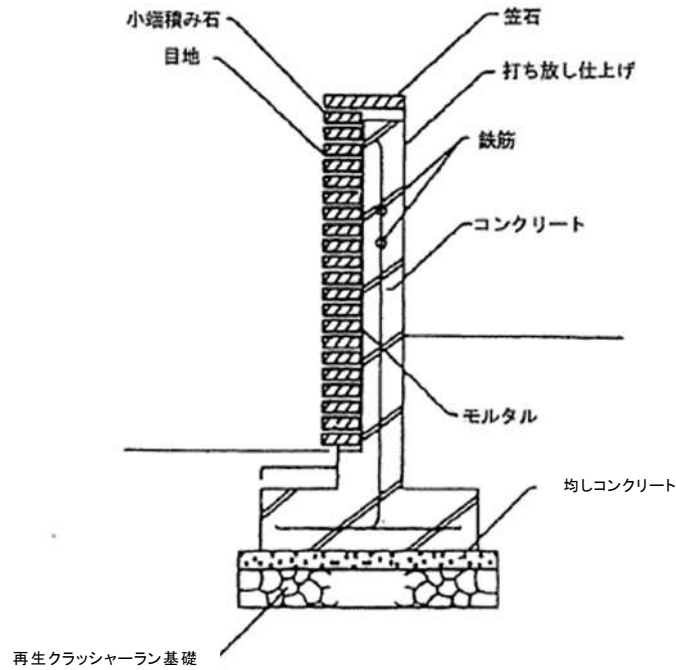
(3) 単価表

表 1.20 割小端積 10m² 当り単価表 SWC691000

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人		表 1.19
石 工		〃		〃
普通作業員		〃		〃
小 端 積 石	大きさ 300×74mm 程度 厚 20~35mm 程度	m ²	10	
諸 雑 費		式	1	表 1.19
計				

(注) 掘削等は擁壁本体で計上する。

(4) 参考図



1-8 胴込・裏込コンクリート投入打設

(1) 適用範囲

本資料は、練石積及び練石張における胴込・裏込コンクリート打設に適用する。

(2) 施工歩掛

胴込・裏込コンクリートの投入打設歩掛は次表を標準とする。

表 1.21 胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛表 (10m³当り)

名 称	規 格	単 位	数 量		摘 要
			練石積	練石張	
特 殊 作 業 員		人	1.3	1.5	
普 通 作 業 員		〃	1.8	1.9	
諸 雑 費		%	12	6	(注)1

- (注) 1. 諸雑費はコンクリートバケット、バイブレータ、型枠等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限とする。
 2. 運搬距離 20m 程度の人力による小運搬距離を含む。
 3. 基礎コンクリート及び天端コンクリートは、「第Ⅱ編第2章③コンクリートブロック積(張)工」による。
 4. 胴込コンクリート量は、雑割石の場合は面積に控長の1/2を乗じたものとする。

① 胴込・裏込コンクリート投入量

胴込・裏込コンクリート投入量は、次式による。

$$\text{投入量} = \text{設計量} \times (1 + K) \dots\dots\dots \text{式 1.1}$$

K : ロス率

表 1.22 ロス率

材 料	単 位	ロ ス 率
コ ン ク リ ー ト	m ³	+0.17

(3) 単価表

表 1.23 胴込・裏込コンクリート 10m³ 当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
特 殊 作 業 員		人		表 1.21
普 通 作 業 員		〃		〃
コ ン ク リ ー ト		m ³	11.7	式 1.1、表 1.22
諸 雑 費		式	1	表 1.21
計				

2. コンクリートブロック工

(1) 適用範囲

本歩掛は、公園工事におけるコンクリートブロック工に適用する。

2-1 コンクリートブロック（空洞ブロック）積

(1) 施工歩掛

建築用空洞ブロック（B種）積の施工歩掛は次表を標準とする。

表 2.1 コンクリートブロック（空洞ブロック）積施工歩掛 (1m²当り)

名 称	規 格	単 位	数 量			備 考
			100mm	120mm	150mm	
建築用空洞ブロック	390×190（B種）	個	13	13	13	
セメント		kg	13.1	16.6	24.2	
砂	細目	m ³	0.03	0.03	0.05	
鉄筋		kg	3.7	3.7	3.7	
建築ブロック工		人	0.12	0.13	0.14	
普通作業員		〃	0.05	0.06	0.08	

- (注)1. 片面のみ目地等の仕上げをする場合は、建築ブロック工を 0.025 人/m²、両面とも目地等の仕上げをする場合は、建築ブロック工を 0.05 人/m²加算する。
 2. 鉄筋加工組立は、上記労務費に含まれる。標準的には縦横とも D-10@400 とし、その場合の数量は 3.7kg/m²とする。
 3. 小運搬距離は、20m 程度とする。

(2) 単価表

表 2.2 コンクリートブロック（空洞ブロック）積 1m²当り単価表

SWC698300

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
建築用空洞ブロック	390×190（B種）	個		表 2.1
セメント		kg		〃
砂	細目	m ³		〃
鉄筋		kg		〃
建築ブロック工		人		〃
普通作業員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

⑦ 縁石工（建都-K）

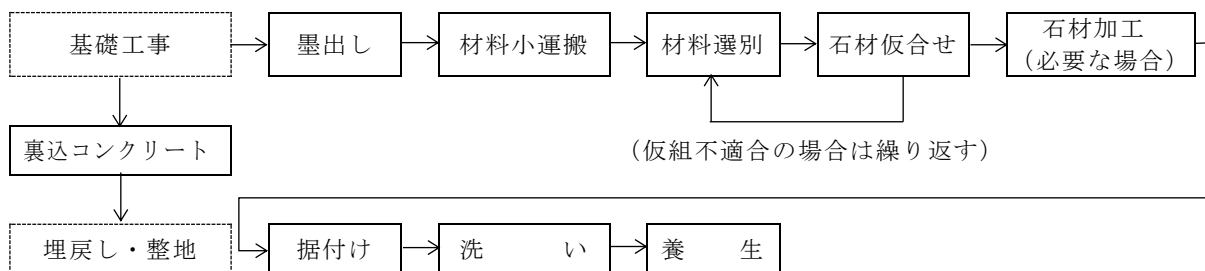
1. 石材縁石

(1) 適用範囲

本資料は、公園工事における野面ごろた石、玉石、雑割石、切石の縁石工に適用する。

(2) 施工フロー

施工フローは下図の通りとする。



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

(3) 施工歩掛

石材縁石の据付歩掛は、次表を標準とする。

表 1.1 石材縁石据付歩掛表

(10m 当り)

名 称	単 位	数 量				備 考
		野面ごろた石	玉 石	雑 割 石	切 石	
土木一般世話役	人	0.11	0.12	0.23	0.20	
石 工	〃	0.35	0.47	0.87	0.52	
普通作業員	〃	0.67	0.79	1.16	0.78	
諸 雑 費	%	7	5	20	3	(注)2

(注) 1. 運搬距離 20m 程度の人力による小運搬を含む。

2. 諸雑費は、コンクリート（雑割石）、張付モルタル（切石・玉石・野面ごろた石）の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 1.2 石材の使用量 (10m 当り)

名 称	規格・形状	単 位	数 量
野面ごろた石	φ100～φ200mm	個	66.0
玉 石	φ200～φ300mm	〃	40.0
雑 割 石	控え 350mm 程度	〃	30.0
切 石	150×150×600mm ～300×300×900mm	〃	14.3

(注) 石材の使用量は、次表を標準とするが、特殊な形状、施工方法等
の場合においては、別途考慮する。

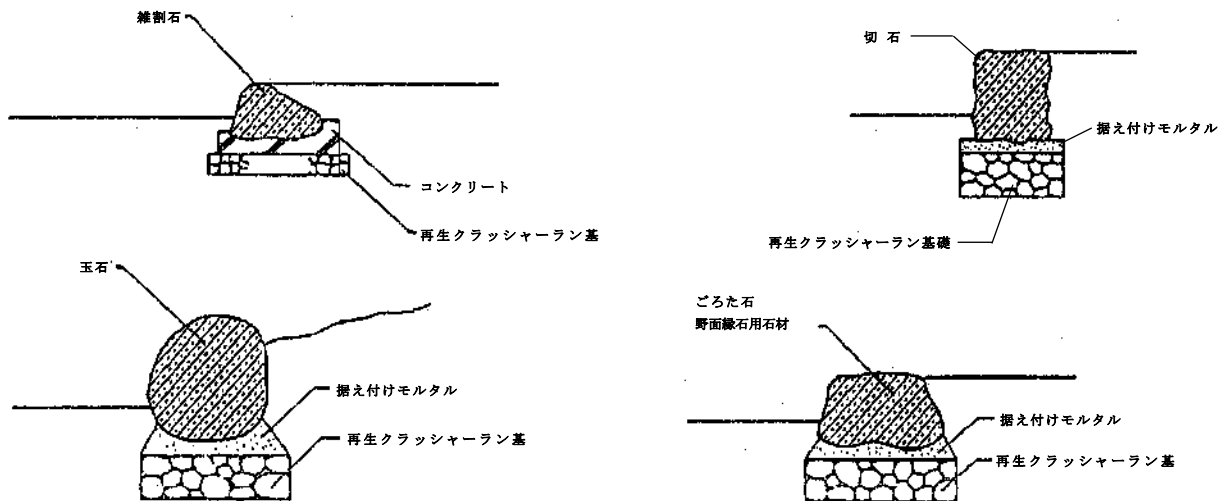
(4) 単価表

表 1.3 ○○石縁石工 10m 当りの単価表

SWC694300

名 称	規格・形状	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人		表 1.1
石 工		〃		表 1.1
普通作業員		〃		表 1.1
石 材	○○石	個		表 1.2
諸 雑 費		式	1	表 1.1
計				

(5) 参考図



2. レンガ縁石

(1) 施工歩掛

レンガ縁石の据付歩掛は次表を標準とする。

表 2.1 レンガ縁石据付歩掛表 (100m 当り)

名 称	規格・形状	単位	数 量					摘 要
			A	B	C	D	E	
普通レンガ	JIS3種 210×100×60	個	477	1500	1500	955	955	ロス5%含む
目地モルタル	1:3	m ³	0.02	0.3	0.3	0.2	0.2	
ブロック工		人	1.8	6.0	6.0	3.8	3.8	据付け
普通作業員		〃	0.3	1.1	1.1	0.7	0.7	手伝い

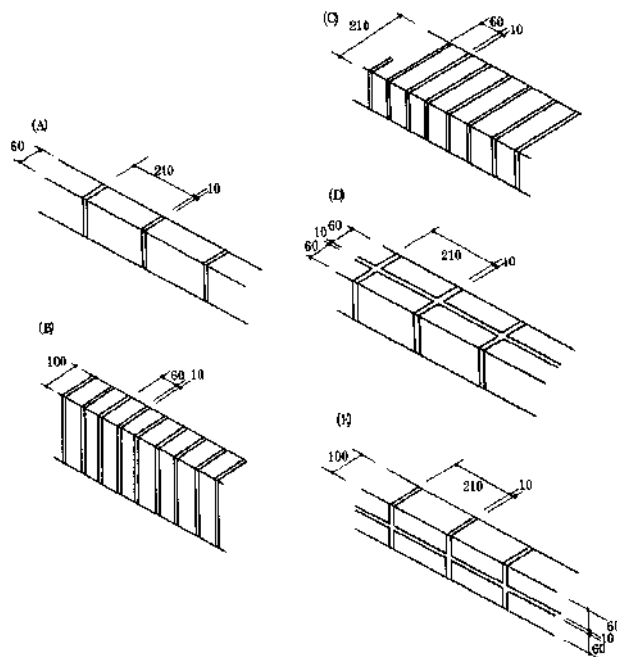
- (注) 1. 基礎は別途計上する。
2. レンガ等の小運搬は、運搬距離 20m 程度とする。

(2) 単価表

表 2.2 レンガ縁石 100m 当り単価表 SWB610360

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
普通レンガ	JIS 3種 210×100×60	個		表 2.1
目地モルタル	1:3	m ³		〃
ブロック工		人		〃
普通作業員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

(3) 参考図



目地は、化粧目地とし、幅 10mm、深さ 3~5mm とする。

⑧ 給排水構造物工 (建都-K)

1. 側溝工 (建都-K)

1-1 プレキャストL型側溝及びV型側溝

(1) 施工歩掛

プレキャストL型側溝及びV型側溝の据付歩掛は次表を標準とする。

表 1.1 プレキャストL型側溝及びV型側溝据付歩掛表 (10m 当り)

1 個当り長さ (m)		0.6m/個		備 考
名 称	規 格	単 位	数 量	
土 木 一 般 世 話 役		人	0.3	
特 殊 作 業 員		〃	0.1	
普 通 作 業 員		〃	0.9	
バックホウ (クレーン機能付) 運転	排出ガス対策型・クローラ型 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³) 2.9t 吊	h	1.2	
基 礎 砕 石 費		%	22	(注) 3
諸 雑 費		%	12	〃

- (注) 1. 歩掛は、運搬距離 30m 程度までの小運搬を含むものであり、床掘、埋戻し、残土処理は含まない。
2. バックホウ (クレーン機能付) の規格は、排出ガス対策型 (第 1 次基準値)・クローラ型山積 0.45m³ (平積 0.35m³) 2.9t 吊りとする。
3. 基礎砕石費及び諸雑費は、労務費及びバックホウ (クレーン機能付) 運転経費の合計額に、上表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、基礎砕石費及び諸雑費に含まれる内容は次のとおりである。
- [基礎砕石費]
敷設・転圧労務、材料投入・締固め機械運転経費、砕石等材料費
- [諸雑費]
コンクリートカット運転、目地モルタル、敷モルタル、プレキャストL型及びV型側溝損失分の費用、カットブレードの損耗費等
4. 基礎砕石の敷均し厚は、20cm 以下を標準としており、これにより難い場合は別途計上する。
5. 基礎砕石費は、材料の種別・規格にかかわらず適用できる。
6. 再使用する場合の撤去歩掛は、布設歩掛 (基礎砕石費率は除く) の 50%とする。
7. コンクリートが必要な場合は、「第Ⅱ編第 4 章①コンクリート工」による。

(2) 単価表

表 1.2 プレキャストL型側溝及びV型側溝据付 10m 当り単価表 SWC698500

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
○ 型 ブ ロ ッ ク		個	16.5	
土 木 一 般 世 話 役		人		表 1.1
特 殊 作 業 員		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
バックホウ (クレーン機能付) 運転	排出ガス対策型・クローラ型 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³) 2.9t 吊	h		〃
基 礎 砕 石 費		式	1	〃 必要に応じて計上
諸 雑 費		〃	〃	〃
計				

2. マンホール工

(1) 施工歩掛

人孔用コンクリートブロック、蓋、足掛金物の据付歩掛は次表を標準とする。

表 2.1 人孔用コンクリートブロック等据付歩掛表 (1個、1組、1本当たり)

名 称	規 格	単 位	斜 壁 等 直 壁 等 スラブ(各種) 据 付	蓋(受枠) 及び調整 コンクリートブロック 据 付	足 掛 金 物
土 木 一 般 世 話 役		人	0.10	0.13 (0.08)	—
特 殊 作 業 員		〃	0.10	0.13 (0.08)	0.07
普 通 作 業 員		〃	0.20	0.26 (0.16)	0.07
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	日	0.10	0.13 (0.08)	—
諸 雑 費		%	3	6 (5)	—

- (注) 1. 斜壁、直壁等、スラブ(各種)、蓋(受枠とも)、調整コンクリートブロック据付の諸雑費は、モルタル工(配合1:3、敷厚1cm)等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
2. 調整コンクリートブロックを使用しない場合には、()内の値を計上する。
3. 高流動性無収縮超早強モルタル及び受枠変形防止調整金具を使用する場合は別途計上する。
4. 蓋・受枠を仮据付けする場合、及び仮据付けの箇所を本据付けにする場合は、労力及びトラッククレーン賃料は歩掛の50%とし、その歩掛に対し諸雑費を計上する。
5. 足掛金物取付については、側壁に削孔して足掛金物を取付ける場合に適用する。

(2) 単価表

①斜壁据付1個当たり単価表

SWC692100

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
斜 壁		個	1	
土 木 一 般 世 話 役		人		表 2.1
特 殊 作 業 員		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	日		〃
諸 雑 費		式	1	〃
計				

②直壁据付 1 個当り単価表

SWC692100

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
直 壁		個	1	
土 木 一 般 世 話 役		人		表 2.1
特 殊 作 業 員		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	日		〃
諸 雑 費		式	1	〃
計				

③スラブ (各種) 据付 1 個当り単価表

SWC692100

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
ス ラ ブ (各 種)		個	1	
土 木 一 般 世 話 役		人		表 2.1
特 殊 作 業 員		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	日		〃
諸 雑 費		式	1	〃
計				

④蓋 (受枠とも) 及び調整コンクリートブロック据付 1 組当り単価表

SWC692300

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
蓋及び調整コンクリートブロック		組	1	
土 木 一 般 世 話 役		人		表 2.1
特 殊 作 業 員		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	日		〃
諸 雑 費		式	1	〃
計				

⑤足掛金物据付 1 本当り単価表

SWC692400

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
足 掛 金 物		本	1	
特 殊 作 業 員		人		表 2.1
普 通 作 業 員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	〃
計				

3. 汚水排水設備工

(1) 適用範囲

汚水排水設備工については、構造・施工手順が雨水排水と同じであることから、雨水排水設備工によるものとする。

3-1 汚水枮・マンホール工

(1) 施工歩掛

インバート上塗りは次表を標準とする。

表 3.1 インバート上塗り 歩掛表 (1m²当り)

職 種	歩 掛 (人)
左 官 工	0.38
普 通 作 業 員	0.36

(注) 上塗モルタル厚は、10~30mmとする。

(2) 単価表

表 3.2 インバート上塗り 1m² 当り単価表

SWC692600

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
モ ル タ ル	1:3	m ³		
左 官 工		人		表 3.1
普 通 作 業 員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

4. 地下排水工

4-1 透水コンクリート管

(1) 施工歩掛

透水コンクリート管の布設歩掛は次表を標準とする。

表 4.1 透水コンクリート管布設 歩掛 (100m当り)

管 径 (mm)	職 種	普 通 作 業 員 (人)
50		2.0
100		3.0
150		5.0
200		6.0

(注) 1. 労務歩掛は、管布設材料及び小運搬作業(20m程度)一式を含む。

2. ロスによる割増しは、行なわない。

(2) 単価表

表 4.2 透水コンクリート管布設 100m 当り単価表

SWB610380

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
透 水 コ ン ク リ ー ト 管		m	100	
普 通 作 業 員		人		表 4.1
諸 雑 費		式	1	
計				

5. 給水管路工

5-1 給水管

(1) 施工歩掛

給水用の鋼管及び硬質ポリ塩化ビニール管の布設歩掛は次表を標準とする。

① 水道用鋼管布設 (人力吊込み布設)

表 5.1 水道用鋼管布設 (人力吊込み布設) 歩掛表 (100m 当り)

内 径 (mm)	屋 外 配 管 配 管 工 (人)	屋内配管 (給水・排水・通気) 配 管 工 (人)
1/2 インチ (15)	6.7	10.7
3/4 (20)	7.6	12.0
1 (25)	9.3	14.8
1・1/4 (32)	11.4	18.1
1・1/2 (40)	12.5	19.9
2 (50)	15.7	25.0
2・1/2 (65)	20.5	32.5
3 (80)	23.2	36.8
4 (100)	30.3	48.1
5 (125)	35.9	56.9
6 (150)	43.6	69.2

(注) 1. 本表の屋内工事の歩掛は、高架 (高置) 水そう等の配管に適用する。

2. 屋外配管

- (1) ねじ立て接合、弁取付け (制水弁を除く)、小運搬及び水圧試験を含む。
- (2) 床掘及び埋戻しは、含まない。

3. 屋内配管

- (1) ねじ立て接合、支持金物取付け、弁取付け、小運搬及び水圧試験を含む。

4. 本表の小運搬の距離は、20m 程度とする。

5. 材料の割増率は屋外 5%、屋内 10%とする。

表 5.2 水道用鋼管継手材料

	屋 外	屋 内
塩化ビニルライニング鋼管	材料費の 35%	材料費の 90%
水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管	材料費の 55%	材料費の 110%

② 水道用硬質ポリ塩化ビニル管布設 (屋外給水用)

水道用硬質ポリ塩化ビニル管布設 (屋外給水用) 歩掛は次表を標準とする。

表 5.3 水道用硬質ポリ塩化ビニル管布設 (屋外給水用) 歩掛
(1m 当り)

内 径 (mm)	配 管 工 (人)
15	0.032
20	0.043
25	0.052
30	0.055
40	0.071
50	0.090
65	0.114
75	0.133

- (注) 1. 本表は、接合、小運搬及び水圧試験を含むが、土工工事は含まない。
2. 本表の小運搬の距離は、約 20m とする。
3. 材料の割増率は 5% とする。弁材料は別途計上する。

表 5.4 水道用硬質ポリ塩化ビニル管継手材料

	屋 外	屋 内
硬 質 ポ リ 塩 化 ビ ニ ル 管	材料費の 25%	材料費の 55%

(2) 単価表

表 5.5 水道用鋼管布設 100m 当り単価表

SWB610390

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
水道用鋼管		m		必要に応じ継手材料含む 表 5.1、表 5.2
配 管 工		人		表 5.1
諸 雑 費		式	1	
計				
1m 当り				

表 5.6 水道用硬質ポリ塩化ビニル管布設 1m 当り布設単価表

SWB610400

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
水道用硬質ポリ 塩化ビニル管		m		必要に応じ継手材料含む 表 5.3、表 5.4
配 管 工		人		表 5.3
諸 雑 費		式	1	
計				

5-2 水栓類取付工

(1) 施工歩掛

水栓類取付工の歩掛は次表を標準とする。

表 5.7 水栓類取付工歩掛表

(1個当り)

名 称	単 位	口 径		
		15	20	25
各種水栓	個	1.0		
配管工（各種水栓）	人	0.07	0.08	0.09
散水栓（箱共）	個	1.0		
配管工（箱共）	人	0.35	0.35	

- (注) 1. 新規散水栓（箱共）を設置する場合は、散水栓（箱共）と配管工（散水栓（箱共））を適用する。
 2. 既存の箱内に水栓を設置する場合は、各種水栓と配管工（各種水栓）を適用する。
 3. 箱内に2個以上の水栓を設置する場合は別途考慮すること。

(2) 単価表

表 5.8 水栓類取付工1個当り単価表

SWB610410

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
各種水栓		個		表 5.7
配管工		人		〃
散水栓（箱共）		個		〃 必要により計上
配管工		人		〃 〃
諸 雑 費		式	1	
計				

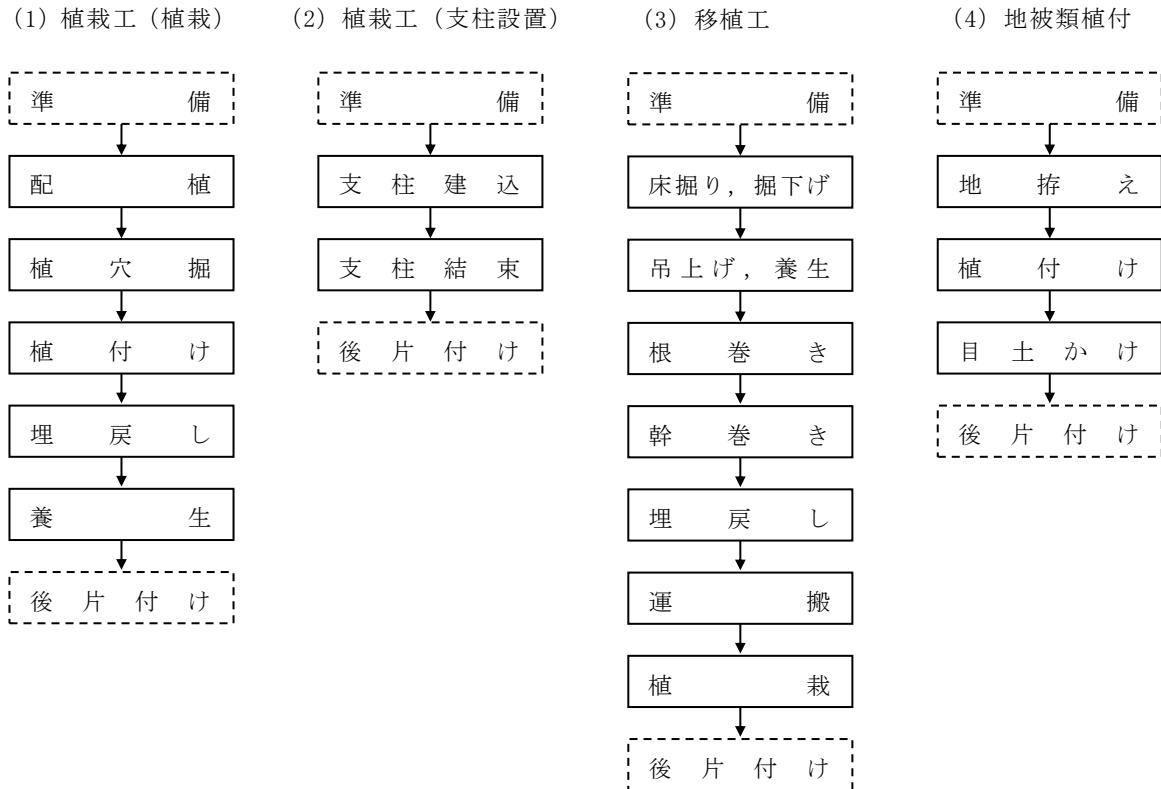
⑨ 公園植栽工 （ 建地-K ）

1. 適用範囲

本資料は、公園の植栽作業及び移植作業に適用する。なお、高木とは、樹高3m以上、中低木とは、樹高3m未満とする。

2. 施工フロー

施工フローは、下記を標準とする。



（注）本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである

図2-1 施工フロー

3. 施工歩掛

3-1 植栽工

(1) 植栽

植栽は、配植、植穴掘、植付け、埋戻し、養生までの作業を行うもので、施工歩掛は、次表を標準とする。なお、中低木は別途考慮する。なお、中低木は別途考慮する。

表3.1 植栽歩掛 (100本当り)

形状寸法 (cm)	名称 (人)			機械運転時間 (h)	運転日数 (日)	
	土木一般 世話役	造園工	普通 作業員		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・ 排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積0.13m ³ (平積0.1m ³)	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型 (第1次基準値) 4.9t吊
(幹周) 15未満	3.2	16.1	9.6	—	—	—
15以上 25未満	5.4	27.4	9.7 (16.3)		1.9 (—)	
25以上 40未満	5.0	23.0	14.0 (55.0)	47.0	2.1 (—)	
40以上 60未満	10.0	44.0	26.0 (87.0)	57.0	4.8 (—)	
60以上 90未満	16.0	74.0	45.0 (190.0)	—	10.5 (—)	

- (注) 1. 高木の幹周15cm以上は、機械施工を標準とする。ただし、現場の障害物等により、機械施工が出来ない場合は、()内の数値を採用する。
 2. 幹周は、地際より高さ1.2mの周囲長とする。なお、幹が枝分かれ(株立樹木)している場合の幹周は、各々の総和の70%とする。
 3. 残土を植栽付近に敷均しする歩掛、また、残土として運搬車へ積込む歩掛は、上表に含む。それ以外の残土処分が必要な場合は、別途計上する。また、運搬歩掛は含まない。
 4. 支柱設置歩掛は含まない。
 5. 標準的植穴掘以外の施工は、別途考慮する。
 6. 現場条件により、上表により難しい場合は、別途考慮する。
 7. ラフテレーンクレーン、小型バックホウは、賃料とする。
 8. 上表は根鉢付樹木の標準歩掛であるため、ふるい根の場合は、別途考慮する。
 9. 本歩掛の埋戻し作業には、肥料、土壌改良剤を混合する場合も含まれる。
 10. 上表には、100m程度の現場内小運搬を含む。

(2) 支柱設置

支柱設置は、建込み、結束からなり、支柱形式別、支柱材料及び歩掛は、次表を標準とする。

表3.2 支柱材料及び設置歩掛

名 称	形 状 寸 法	単 位	植樹100本当り							
			二脚鳥居 支 柱 (添木付)	二脚鳥居 支 柱 (添木なし)	三脚鳥居 支 柱	十字鳥居 支 柱	二脚鳥居 組 合せ	八 ッ 掛 (三脚) (竹)	八 ッ 掛 (丸太) L=4m	八 ッ 掛 (丸太) L=6~7m
適用範囲	高木 (幹周)	cm	30未満	20以上 30未満	30以上 60未満	30以上 60未満	40以上 75未満	20未満	20以上 35未満	30以上 75未満
土木一般 世話役		人	1.8	1.3	1.8	2.7	3.6	1.3	2.0	3.1
造 園 工		"	10.2	7.7	10.2	15.3	20.4	7.4	11.1	17.6
普通作業員		"	5.9	4.4	5.9	8.9	11.8	4.3	6.4	10.2
杉 丸 太	長0.6m×末口6cm	本	100	100					300	300
"	" 0.6 × " 7.5	"			100					
"	" 0.75 × " 7.5	"				200	400			
"	" 1.8 × " 6	"	200	200						
"	" 1.8 × " 7.5	"			300	200				
"	" 2.1 × " 7.5	"				200	400			
"	" 4.0 × " 6	"							300	
"	" 6.3 × 中径6	"								300
杉梢丸太	" 4.0 ×末口3	"	100							
竹	末口2.5cm	"						(注)3		
諸 雑 費 率		%	4	4	3	3	2	6	4	3

- (注) 1. 諸雑費は、ハンマ、ペンチ、きり、かけや、緑化テープ、しゅろ縄、洋釘、鉄線等の費用であり、労務費、材料費の合計額に上表の率を乗じた額を上限として計上する。
 2. 適用範囲外の支柱を用いる場合、又は、現場条件により、上表により難しい場合は、別途考慮する。
 3. 竹は、必要量を計上する。
 4. 上表には、100m程度の現場内小運搬を含む。

3-2 移植工

移植工は、掘取、運搬、植栽からなる。

(1) 掘取

掘取は、人力又はバックホウによる床掘り、掘下げ、クレーンによる吊上げ及び養生、根巻き、埋戻しであり施工歩掛は、次表を標準とする。

表3.3 掘取歩掛 (100本当り)

形状寸法 (cm)		名称 (人)			機械運転時間 (h)	運転日数 (日)		諸雑费率 (%)		
		土木一般世話役	造園工	普通作業員		小型バックホウ (クローラ型) 標準型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積0.13m ³ (平積0.1m ³)	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値) 4.9t吊			
中低木	(樹高) 50未満	0.3 (0.2)	2.0 (1.6)	1.6 (1.6)	-	-	-	4		
	50以上 100未満	0.4 (0.3)	2.9 (2.4)	2.3 (2.3)				4		
	100以上 200未満	0.7 (0.6)	5.4 (4.5)	4.5 (4.5)				5		
	200以上 300未満	1.7 (1.4)	13.0 (10.0)	11.4 (11.4)				3		
高木	(幹周) 15未満	2.0 (1.7)	10.3 (8.5)	6.1 (6.1)	-	-	-	5		
	15以上 25未満	4.4 (3.6)	22.1 (18.3)	13.2 (13.2)				5		
	25以上 40未満	7.0 (6.0)	36.0 (31.0)	13.0 (13.0)				9.0 (9.0)	6.4 (6.4)	7
	40以上 60未満	10.0 (9.0)	55.0 (49.0)	21.0 (21.0)				13.0 (13.0)	9.1 (9.1)	7
	60以上 90未満	17.0 (14.0)	88.0 (78.0)	34.0 (34.0)				-	14.8 (14.8)	3.0 (3.0)

- (注) 1. 上表の () 内の数値は、根巻きを行わない場合の歩掛である。
 2. あらかじめ根切りを行い埋戻ししておき、後日移植する場合は、別途計上する。
 3. 幹周は、地際より1.2mの幹の周囲長とする。なお、幹が枝分かれ(株立樹木)している場合の幹周は、各々の総和の70%とする。
 4. 高木の幹周25cm以上は、機械施工を標準とする。
 5. 高木の幹周25cm以上は、積込み、卸し時間を含む。
 6. 掘取後の残土は埋戻しとして含むが、不足土量に係る費用が必要な場合は別途計上する。
 7. 現場条件により、上表により難しい場合は、別途考慮する。
 8. ラフテレーンクレーン、小型バックホウは、賃料とする。
 9. 上表は、根鉢付樹木の標準歩掛であるため、ふるい根の場合は、別途考慮する。
 10. 諸雑費は、根巻きを行う場合のわらなわ・緑化テープの費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。根巻きを行わない場合は計上しない。
 11. 上表には、100m程度の現場内小運搬を含む。

(2) 幹巻き

幹巻きが必要な場合は、次表を標準とする。

表3.4 幹巻き歩掛

(100本当たり)

形状寸法幹周 (cm)	土木一般世話役 (人)	造園工 (人)	普通作業員 (人)	諸雑費率 (%)
25以上 40未満	1.1	4.9	1.9	15
40以上 60未満	2.0	8.7	3.4	16
60以上 90未満	3.2	14.2	5.5	20

- (注) 1. 幹周は、地際より1.2mの幹の周囲長とする。なお、幹が枝分かれ(株立樹木)している場合の幹周は、各々の総和の70%とする。
 2. 現場条件により、上表により難しい場合は、別途考慮する。
 3. 諸雑費は、しゅろ縄・緑化テープの費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
 4. 上表には、100m程度の現場内小運搬を含む。

(3) 運搬

樹木運搬歩掛は、次表を標準とする。

表3.5 運搬歩掛

(100本当たり)

形状寸法 (cm)		運搬機械	積載量 (本)	運搬距離5kmまでの 運転時間 (h)	5kmを超え5km増す毎に 加算する運転時間 (h)
中 低 木	(樹高) 50未満	トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4~4.5t積 吊能力2.9t	110	6.6	0.5
	50以上 100未満		50	9.4	1.0
	100以上 200未満		45	11.7	1.1
	200以上 300未満		45	15.0	1.1
高 木	(幹周) 15未満		20	21.3	2.4
	15以上 25未満		13.3	29.4	3.8
	25以上 40未満		7.7	8.7	8.7
	40以上 60未満		2.5	20.5	20.5
	60以上 90未満		1.0	49.0	49.0

- (注) 1. 運搬距離が5kmを超える場合は、超えた距離5kmまで毎に、右の欄の値を左の欄の値へ加算する。
 2. 中低木・高木の幹周25cm未満については、積込み・取卸し時間を含み、幹周25cm以上は、積込み・卸し時間を含まない。

(4) 植栽工

施工歩掛は、3-1植栽工 表3.1植栽歩掛を適用する。

3-3 地被類植付工

(1) 張芝工

張芝は、地拵え、植付け、目土かけ、施工歩掛は、次表を標準とする。

表3.6 張芝工歩掛 (100m²当り)

名 称		単 位	数 量
土 木 一 般 世 話 役		人	0.2
造 園 工		〃	1.1
普 通 作 業 員		〃	2.3
目 土 使 用 量		m ³	2.7
芝	ベ タ 張	m ²	100
	目 地 張	〃	必要量を計上
諸 雑 費 率		%	4

- (注) 1. 上表は、ベタ張、目地張に適用し、市松張、すじ張の場合は、適用外とする。
2. 諸雑費は、芝申を必要とする場合に計上し、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。芝申を必要としない場合は計上しない。
3. 現場条件により、上表により難しい場合は、別途考慮する。
4. 上表には、100m程度の現場内小運搬を含む。

4. 単価表

(1) 高木植栽100本当り単価表

SWB610010

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土 木 一 般 世 話 役		人		表3.1
造 園 工		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
樹 木	幹周 ○○cm	本	100	樹種名を記入
改 良 剤		kg		必要量を計上
支 柱		本		単価表 (2)
ト ラ ッ ク 運 転	クレーン装置付 ベーストラック4~4.5t積 吊能力2.9t	h		表3.1 高木幹周25cm以上 60cm未満に計上 機械損料
ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 4.9t吊	日		表3.1 高木幹周60cm以上に計上 機械賃料
小 型 バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)運転	標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.13m ³ (平積0.1m ³)	〃		表3.1 高木幹周15cm以上に計上 機械賃料
諸 雑 費		式	1	
計				

(2) 支柱設置植樹100本当り単価表

SWB610020

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土 木 一 般 世 話 役		人		表3.2
造 園 工		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
杉 丸 太	〇〇m, 〇〇cm	本		〃
〃	〇〇m, 〇〇cm	〃		〃
杉 梢 丸 太	〇〇m, 〇〇cm	〃		〃
〃	〇〇m, 〇〇cm	〃		〃
竹	〇〇cm	〃		〃
〃	〇〇cm	〃		〃
諸 雑 費		式	1	〃
計				

(3) 掘取100本当り単価表

SWB610030

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土 木 一 般 世 話 役		人		表3.3
造 園 工		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
ト ラ ッ ク 運 転	クレーン装置付 ベーストラック4~4.5t積 吊能力2.9t	h		表3.3 高木幹周25cm以上 60cm未満に計上 機械損料
ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 4.9t吊	日		表3.3 高木幹周60cm以上に計上 機械賃料
幹 卷		本	100	単価表(4)
小 型 バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)運転	標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.13m ³ (平積0.1m ³)	日		表3.3 高木幹周25cm以上に計上 機械賃料
諸 雑 費		式	1	表3.3
計				

(4) 幹巻き100本当り単価表

SWB610031

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土 木 一 般 世 話 役		人		表3.4
造 園 工		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	〃
計				

(5) 運搬工 (中低木・高木) 100本当り単価表

SWB610040

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
ト ラ ッ ク 運 転	クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積 吊能力2.9t	h		表3.5 機械損料
諸 雑 費		式	1	
計				

(6) 張芝工100㎡当り植付け単価表

SWB610050

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土 木 一 般 世 話 役		人		表3.6
造 園 工		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
芝		㎡		芝名を記入
目 土		㎥	2.7	目地張の場合の数量は 必要量とする
諸 雑 費		式	1	表3.6, (注)
計				

(注) 芝串を必要とする場合のみ、労務費の合計額に表3.6の率を乗じた金額を上限として計上する。

(7) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項
小 型 バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.13㎥ ³ (平積0.1㎥ ³)	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 → 20 機械賃料数量→ 1.63
ト ラ ッ ク	クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積・ 吊能力2.9t	機-1	

5. 植栽工事の割増積算

新植樹木等の植樹割増しとして、下記の費用を加算する。ただし、移植及び根廻し工事に係るものは除く。

割増経費 = 「材料費 + 労務費 + 機械経費」 × 0.5%

6. 参考資料

6-1 鉢容量及び植穴容量

表6.1(a) 鉢容量及び植穴容量

形状	幹 周 (cm)	鉢 径 (cm)	鉢の深さ (cm)	植穴径 (cm)	植穴深さ (cm)	鉢容量 (m ³)	植穴容量 (m ³)
高木	10未満	33	25	69	37	0.017	0.09
	10以上 15未満	38	28	75	40	0.028	0.14
	15以上 20未満	47	33	87	46	0.061	0.27
	20以上 25未満	57	39	99	53	0.11	0.44
	25以上 30未満	66	45	111	59	0.17	0.65
	30以上 35未満	71	48	117	62	0.21	0.76
	35以上 45未満	90	59	141	75	0.4	1.34
	45以上 60未満	113	74	171	90	0.74	2.28
	60以上 75未満	141	91	207	109	1.32	3.7
	75以上 90未満	170	108	243	128	2.08	5.45

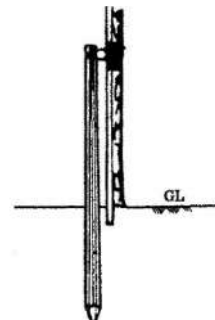
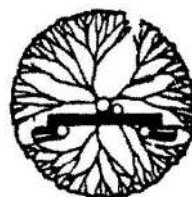
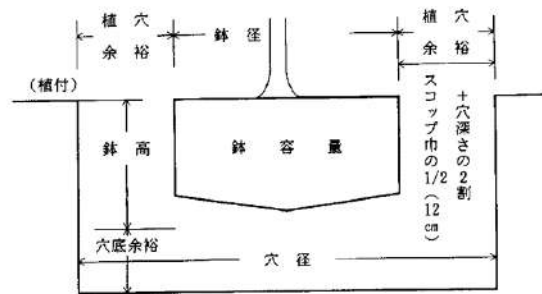
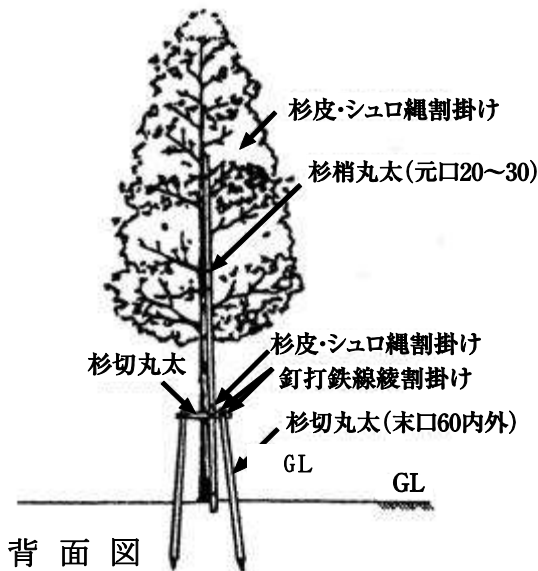
表6.2(b) 鉢容量及び植穴容量

形状	樹 高 (cm)	鉢 径 (cm)	鉢の深さ (cm)	植穴径 (cm)	植穴深さ (cm)	鉢容量 (m ³)	植穴容量 (m ³)
中木	30未満	15	8	29	23	0.001	0.015
	30以上 50未満	17	10	33	26	0.002	0.022
	50以上 80未満	20	12	37	28	0.004	0.030
低木	80以上 100未満	22	13	41	31	0.005	0.040
	100以上 150未満	26	16	46	35	0.008	0.057
	150以上 200未満	30	19	54	40	0.013	0.090
木	200以上 250未満	35	23	61	46	0.022	0.133
	250以上 300未満	40	26	69	51	0.032	0.188

(注) 鉢容量=埋戻不足土量

6-2 支柱形式参考図

① 二脚鳥居支柱 (添木付)

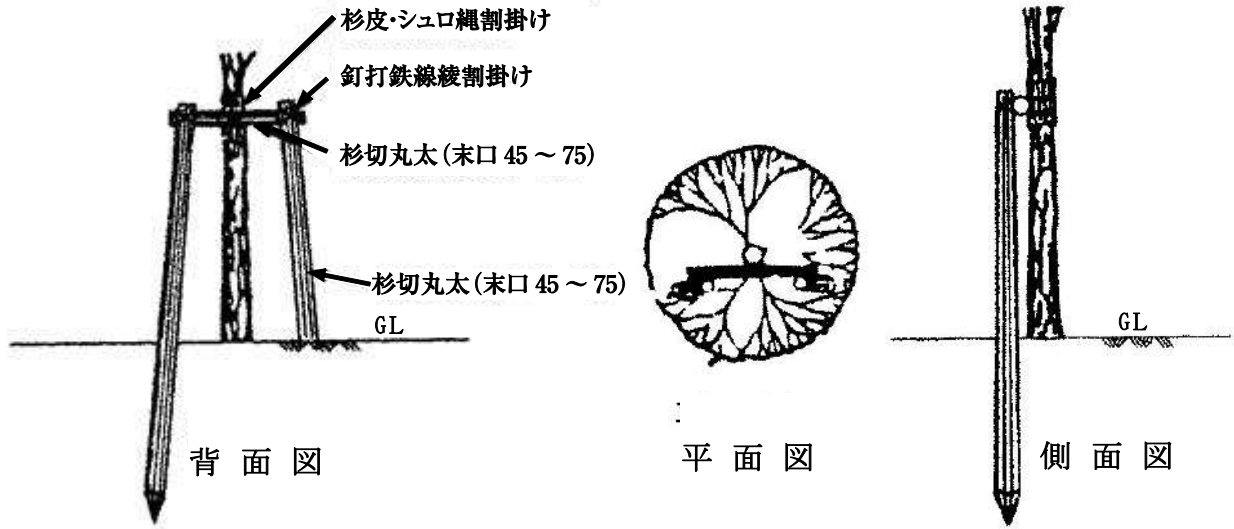


背面図

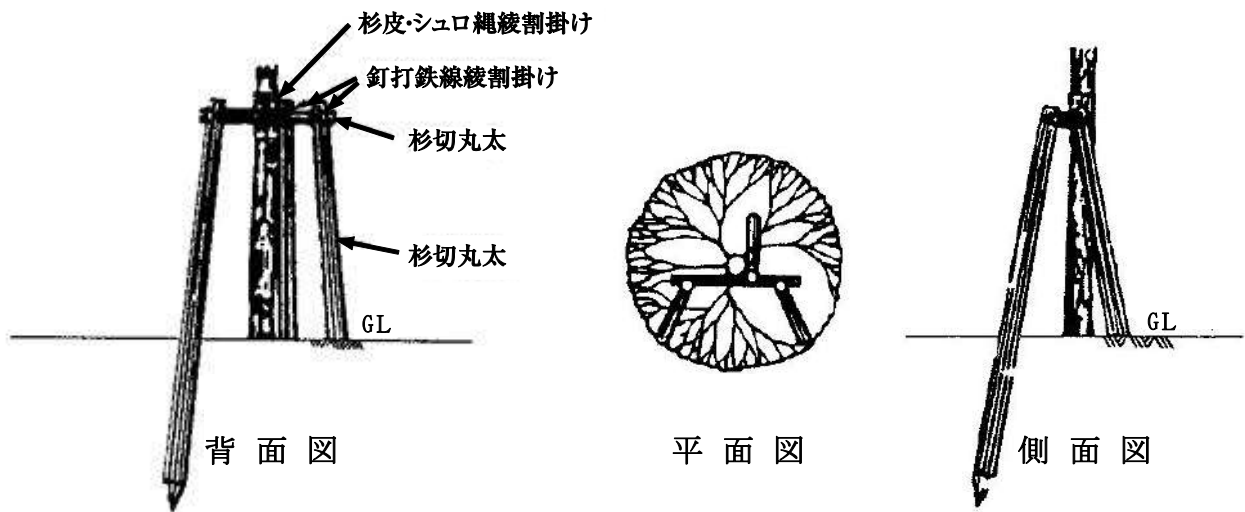
平面図

側面図

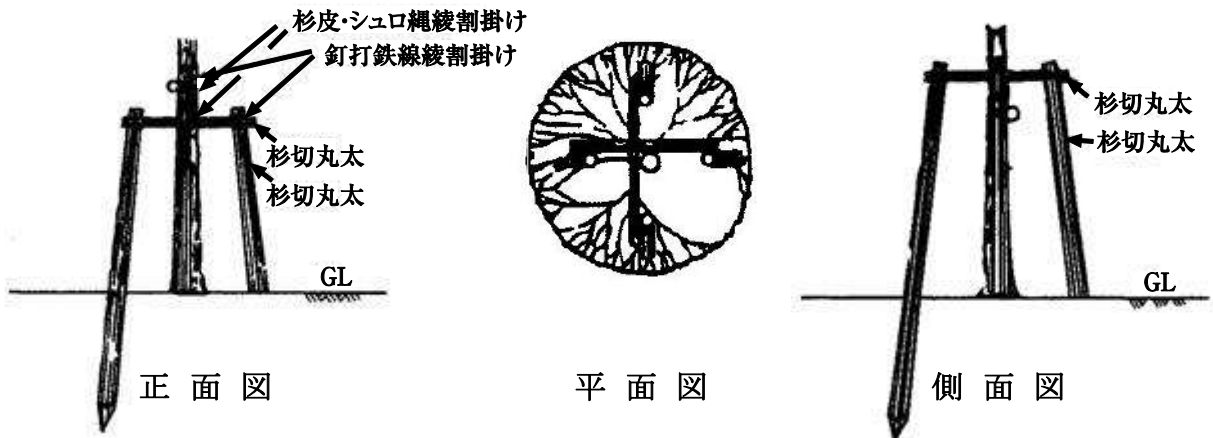
② 二脚鳥居支柱 (添木なし)



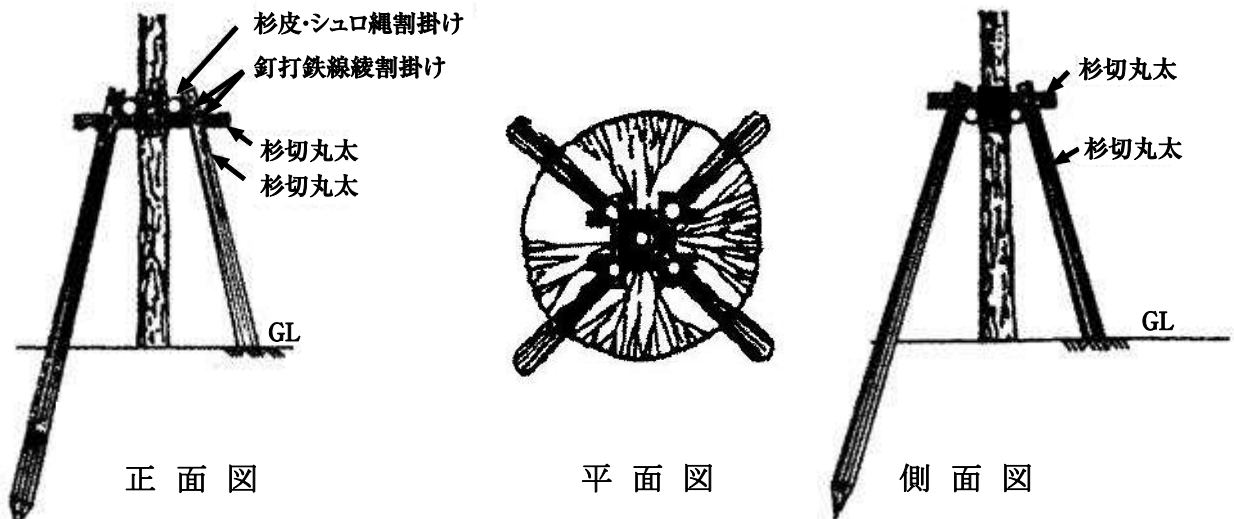
③ 三脚鳥居支柱



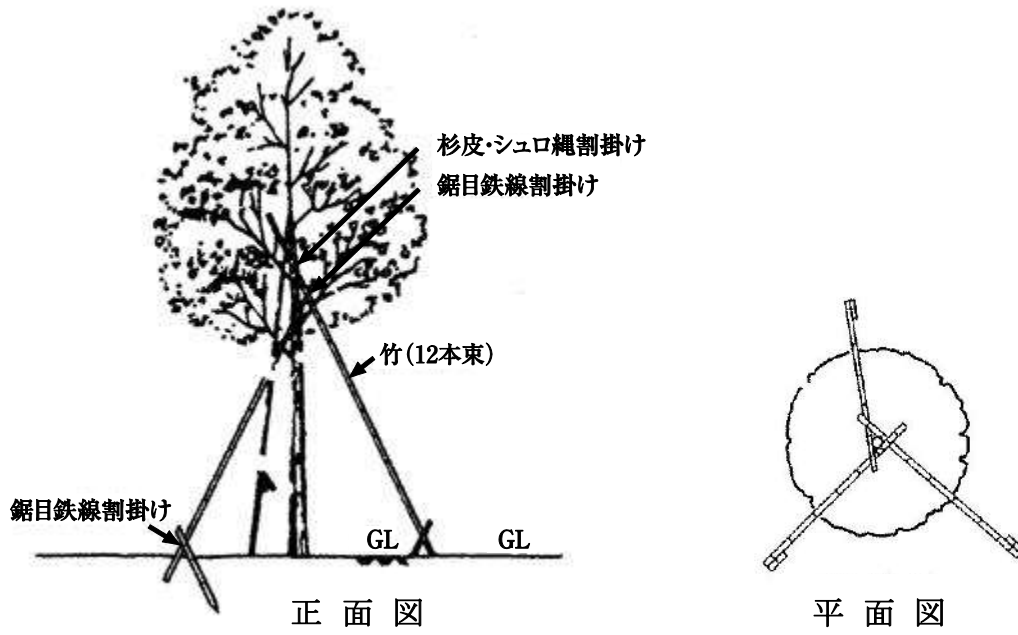
④ 十字鳥居支柱



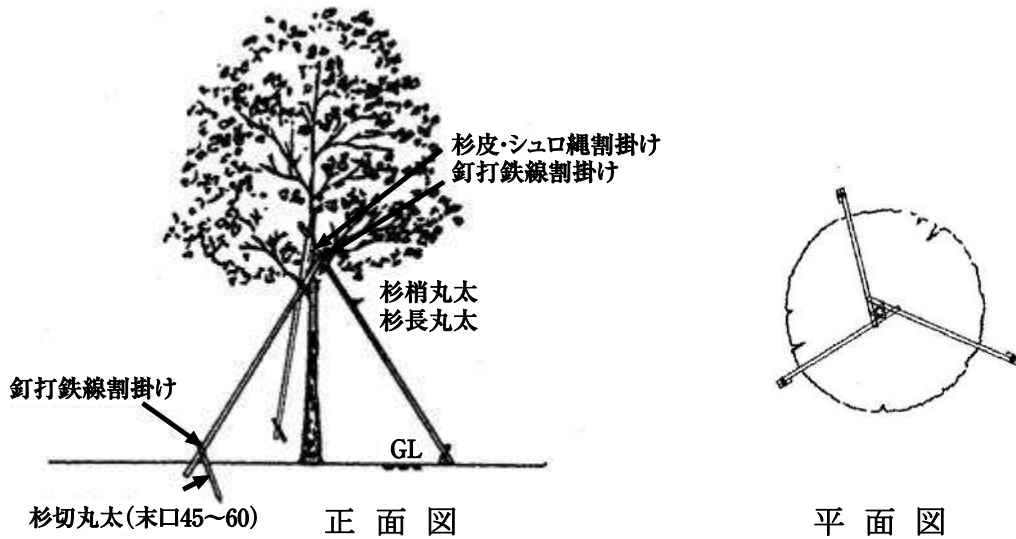
⑤ 二脚鳥居組合せ
四脚支柱



⑥ 八ッ掛 (三脚) (竹) 竹三本支柱



- ⑦ 八ッ掛 (三脚) (丸太) L = 4m
- ⑧ 八ッ掛 (三脚) (丸太) L = 6m ~ 7m
丸太三本支柱



⑩ サービス施設整備工 (建都-K)

1. 適用範囲

本資料は、公園工事におけるベンチ・スツールの据付に適用する。

2. ベンチ・スツール据付工

(1) 施工歩掛

ベンチ・スツールの据付歩掛は次表を標準とする。

表 2.1 ベンチ据付工歩掛表 (10基当り)

名称	20kg 未満		20kg 以上～ 30kg 未満		30kg 以上～ 40kg 未満		40kg 以上～ 50kg 未満		50kg 以上		材 質
	特殊 作業員	普通 作業員	特殊 作業員	普通 作業員	特殊 作業員	普通 作業員	特殊 作業員	普通 作業員	特殊 作業員	普通 作業員	
ス ツ ー ル	0.10	0.40	0.15	0.60	—	—	—	—	—	—	磁器製、 木製等
背 な し ベ ン チ	—	—	0.24	0.96	0.28	1.12	0.32	1.28	—	—	木製、FRP 製、硬質 ポリ塩化 ビニル製、 铸铁製、 ハイク製 等
背 付 き ベ ン チ	—	—	0.28	1.12	0.34	1.36	0.40	1.60	0.46	1.84	

(注) 石材、コンクリート製等については別途計上する。

(2) 単価表

表 2.2 ベンチ据付 10 基当り単価表 SWB610420

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
ベ ン チ		基		
特 殊 作 業 員		人		表 2.1
普 通 作 業 員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

⑪ フェンス工（県-K）

「第IV編第2章附属施設①-3 立入り防止柵工」に準ずる。

⑫ 修景施設整備工（建都－K）

1. 適用範囲

本資料は、公園工事における石組工に適用する。

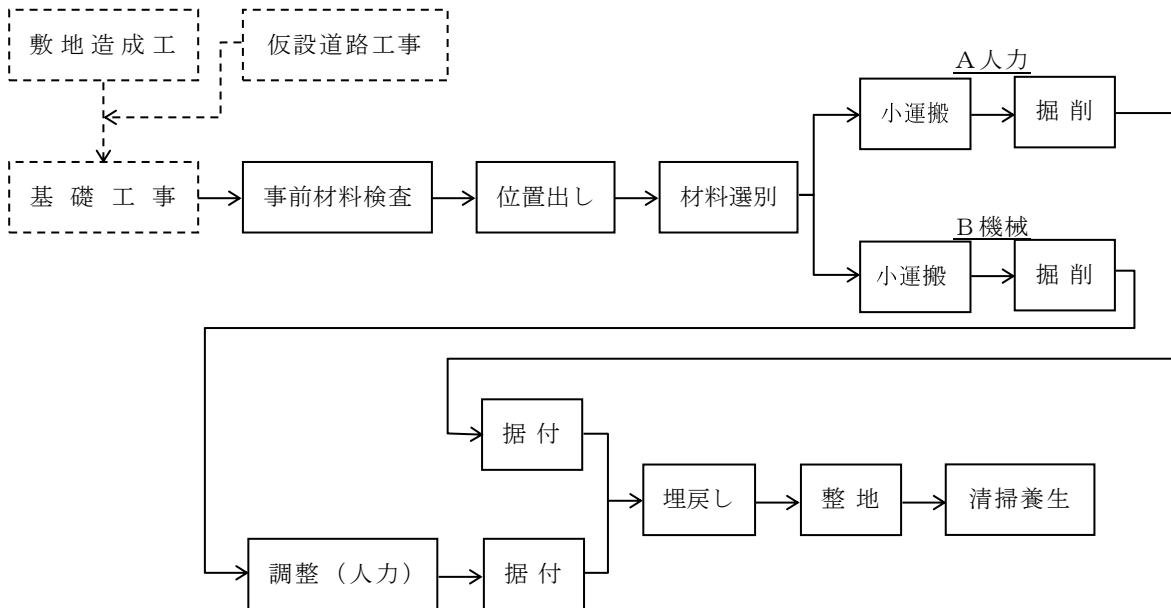
2. 石組工

2-1 石組・景石

(1) 施工フロー

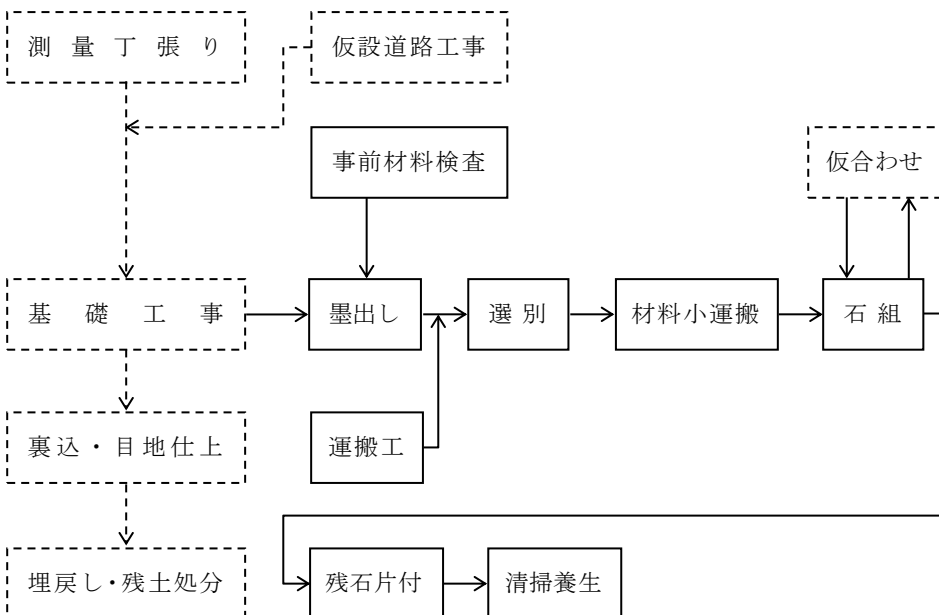
施工フローは、下図の通りとする。（下記は一例であり、現場条件により大きく変化する。）

①景石工



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

②石組工



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである

(2) 施工歩掛

人力及び機械施工による石組工の施工歩掛は次表を標準とする。

① 景石規格と実質量

石組工の積算に用いる景石の規格と実質量は次表を標準とする。

表 2.1 景石規格と実質量

景石規格 (t/個)	景石質量	景石規格 (t/個)	景石質量
0.5	～0.75t 以下	2.0	1.75t 超え～2.5 t 以下
1.0	0.75t 超え～1.25t 以下	3.0	2.5t 超え～3.5t 以下
1.5	1.25t 超え～1.75t 以下	4.0	3.5t 超え～4.5t 以下

② 機種を選定

機械施工による場合の機種は次表を標準とする。

表 2.2 機種を選定

機 械 名	規 格	景石規格 (t/個)					
		0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	4.0
ト ラ ッ ク	クレーン装置付 4t 積 2.9t 吊り	○			—		
トラッククレーン	油圧式 4.9t 吊	—			○		

(注) 現場条件により、本表により難しい場合は現場条件に適した機種規格を計上することができる。

③ 石組・景石据付(捨石工) 施工歩掛

機械施工による場合の機種は次表を標準とする。

表 2.3 石組・景石据付(捨石工) 施工歩掛 (1t 当り)

名 称	単 位	石 組 工		景 石 (捨石工)	
		機械施工	人力施工	機械施工	人力施工
土木一般世話役	人	0.03	0.14	0.02	0.07
造 園 工	〃	0.8	1.3	0.6	1.0
普通作業員	〃	0.26	1.1	0.17	0.9

(注) 1. 土ぎめ据付とする。

2. 石組工については標準的な石組に適用し、滝石組等、特殊な石組については別途考慮する。

④ 石組機械運転歩掛

石組に用いる機械の運転歩掛は次表を標準とする。

表 2.4 石組機械運転歩掛 (1t 当り)

機 械 名	規 格	単 位	景石規格 (t/個)					
			0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	4.0
ト ラ ッ ク	クレーン装置付 4t 積 2.9t 吊り	h	0.38	0.23	0.17	0.16	—	—
トラッククレーン 運 転	油圧式 4.9t 吊り	日	—	—	—	—	0.028	0.028
標準日当り据付個数		個 日	29.4	24.0	20.0	16.7	11.7	8.8

(注) トラッククレーンは、賃料とする。

⑤ 景石据付 (捨石工) 機械運転歩掛

景石据付 (捨石工) に用いる機械の運転歩掛は次表を標準とする。

表 2.5 景石据付 (捨石工) 機械運転歩掛 (1t 当り)

機 械 名	規 格	単 位	景石規格 (t/個)					
			0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	4.0
ト ラ ッ ク	クレーン装置付 4t 積 2.9t 吊り	h	0.38	0.23	0.17	0.16	—	—
トラッククレーン 運 転	油圧式 4.9t 吊り	日	—	—	—	—	0.028	0.028
標準日当り据付個数		個 日	29.0	24.0	20.0	16.7	11.7	8.8

(注) トラッククレーンは、賃料とする。

(3) 単価表

① 石組 1t 当り単価表

SWC694800

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人		表 2.3
造 園 工		〃		〃
普通作業員		〃		〃
トラッククレーン 運 転 ・ 賃 料		h・日		表 2.4
景 石	〇〇石	t		
諸 雑 費		式	1	
計				

② 景石 (捨石工) 1t 当り単価表

SWC694900

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人		表 2.3
造 園 工		〃		〃
普通作業員		〃		〃
トラッククレーン 運 転 ・ 賃 料		h・日		表 2.5
景 石	〇〇石	t		
諸 雑 費		式	1	
計				